

農業生産工程管理（G A P）の普及に向けた今後の取組事例（予定）

1 ガイドラインの内容の周知

都道府県、農業者団体、関係団体への通知、農林水産省ホームページを通じた情報提供

ロック説明会の開催

（都道府県、農業者団体等の担当者を対象に地方農政局等の単位で開催予定）

都道府県、農業者団体、関係団体が主催する説明会等への担当者の派遣

（要請に応じて実施予定）

都道府県段階における普及推進の取組（検討会開催、普及マニュアル策定等）に対する支援

（消費・安全対策交付金において実施予定） 等

2 産地の取組の推進

産地への助言等の支援

（消費・安全対策交付金において実施予定）

産地での取組に対する支援（研修会の開催、食品安全に関する危害要因の分析 等）

（消費・安全対策交付金、産地収益力向上支援事業等において実施予定） 等

3 指導者の育成

都道府県の普及指導員を対象とした研修の実施

（農林水産研修所つくば館において実施予定）

都道府県段階の様々な指導者の養成に対する支援

（消費・安全対策交付金において実施予定） 等

4 産地における導入状況の調査

都道府県の協力を得て導入状況（平成22年3月末時点）の調査を予定

5 データベースの構築と情報提供

G A P の導入等に必要な様々な情報(全国各地の事例、関係法令・指針等の文献、国内外の G A P の内容・取組状況等)を収集しデータベースを構築し、情報を提供
(産地収益力向上支援事業において実施予定)

6 導入促進に向けた技術開発

生産工程管理における記録や確認作業の負担軽減、精度の向上を図るシステムの開発

「新たな農林水産政策を推進する実用化技術開発事業」により開発中

課題名：G A P 導入促進のための経営支援ナビゲーションシステム
の開発

中核機関名：国立大学法人九州大学

期 間：平成 20 年度～平成 22 年度